

今般のデング熱の発生に関する対策

- 今般のデング熱の患者は、いずれも代々木公園の蚊による感染と推定。
- デング熱に感染しても重症化する場合はまれ。蚊に刺されてから3-7日程度で高熱が見られれば、早めに医療機関を受診していただきたい。
- 今後、同様の事例の発生も想定されるため、次の対策を講じる。

1 国民等への適切な情報提供

- ・ マスコミへの適切な情報提供
- ・ 厚生労働省ホームページに専用ページを開設
- ・ 国内向け・渡航者向けの注意喚起ポスターの配付

2 医療の確保

- ・ 医療機関にデング熱の発生について注意喚起
- ・ 医療機関にデング熱の診療マニュアルを配付

3 予防・まん延防止対策

- ・ 地方公共団体にデング熱対応マニュアルを配付
- ・ 検疫所で渡航者に注意喚起。入国者の健康状態を確認

4 サーベイランス・情報収集の徹底

- ・ 全国の地方衛生研究所への検査キットの配付
- ・ 全国の自治体や医療機関に対して、疑い患者の報告を依頼
- ・ 感染者の感染経路や行動の調査を実施